

県民と自由民主党会派をつなぐ

Link

リンク

2020.1 No.36

一令和の時代の新しい秋田創りを一

ごあいさつ

自由民主党会派 会長 鶴田 有司

新春にあたり県民の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

私たち県議会自民党会派は県政が掲げる、未来へつながるふるさと定住回帰、果敢に挑む産業振興、攻めの農林水産業、訪日外国人との交流拡大、元気に活躍できる健康長寿・地域共生社会などの重点戦略に関わる政策の実現と、経済・雇用対策の充実強化を進め新しい秋田創りを目指して参ります。

近年の自然災害は、従来では考えられない規模と地域で発生し、防災・減災の強化が必要不可欠となりました。県民の安全・安心のため、国土強靱化や北朝鮮によるミサイル発射の脅威の問題などに、自民党国会議員とともに力を合わせて取り組んで参りますので皆様からさらなるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

今年は56年ぶりの2020東京オリンピック・パラリンピック大会の開催で、明るく感動的な年となるよう期待されています。県民の皆様お一人おひとりにとりまして、素晴らしい一年となりますよう、ご祈念申し上げます。



秋田港の夜明け

令和という新しい時代も早いもので2年目を迎えました。私自身も、6月議会で初めての一般質問に登壇してから、9月の総括審査、11月の決算委員会での総括審査、12月の一般質問及び総括審査など様々な場面で知事、当局に対して直接考えを伺うことができました。

「子どもに優しい秋田県」「次の世代に胸を張ってバトンを渡す」という視点を常に持ち質問しています。お時間のある方は、更に詳しい情報を県議会のウェブや私のウェブにも掲載していますのでご覧ください。最年少の議員として、また、子育て真っ只中の議員として、秋田県の子育て環境の更なる向上と、子ども施策の推進を強く訴えてまいりました。市議会議員の時に「子ども施策や子育て施策は票にならないよ。」と言われたことがあります。人口減少、少子高齢社会の秋田県において、子ども子育て施策を更に推進させなければ次の世代に元気な秋田を渡すことが出来ないので、例え何を言われてもどんどん声は発し、声を拾い、声を届けていきます。

秋田県の子育て施策を見れば全国と比較すると上位にくるくらいの充実度でもあります。やっているけど届いていないという現状があるのではないのでしょうか。そういった課題も改善し、施策も満足度も向上できればと思います。

引き続き様々な媒体を使い情報発信に努めてまいりますので、お気付きの点がありましたらお気軽にあなたの気持ちを届けていただくと幸いです。



秋田県議会議員

宇佐見 康人